



コミュニティ・スクール 霧島市立国分北小学校 学校だより 令和8年2月

北小の風



校訓「正しい知識・豊かな心・強い身体」 創立56周年 児童数394人 TEL 0995-46-0588

## 「親子の気になる時間と数字」

国分北小学校 川野 浩明

近年の調査によりますと、共働き世帯の増加や生活スタイルの変化に伴い、親子で一緒に過ごす時間は、平日2時間19分、休日4時間19分となり、2012年実施した同様の調査と比べて、平日が41分、休日が70分減少したとのことでした。

また、親子の会話時間にも、平日・休日ともに減少傾向が見られ、平日は父親が平均52分とほぼ横ばいであるのに対し、母親は1時間34分と約2割減少しているそうです。さらに、休日の過ごし方にも変化が見られ、テレビを見る時間が減る一方で、ゲームや動画視聴など、デジタル機器を使う時間が増えていることも指摘されています。

もちろん、忙しい毎日の中で時間を確保することは簡単なことではありません。しかし、長い時間だけでなく、「おはよう」「おかえり」と顔を見て声をかけること、一日の出来事をゆっくり聞くこと、一緒に食卓を囲むことなど、ほんのひとときの積み重ねが、子供たちの安心感や自己肯定感を育てていきます。そして、子供たちは、家族との会話やふれあいの中で、自分が大切にされている存在であることを実感します。その実感が、学校生活への意欲や友達との関わりにもつながっていきます。



本校でも、一人一人に声をかけるようにしながら、子供たちが安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。子供たちの心の土台は、やはりご家庭での温かな時間に支えられています。

ぜひこの機会に、ご家庭での「ふれあいの時間」を改めて見つめ直していただければ幸いです。学校と家庭が手を携え、子供たちの健やかな成長を支えてまいりましょう。

出典:「親子のふれあい時間」調査  
シチズン時計2025. 6. 10

### 【覚えておきたい親子の数字】

- ・ 親子の時間の8割は18歳までに終わる
  - ・ 一緒に眠れるのはたった10年ほど
  - ・ 手をつないで歩けるのは9歳ごろまで
  - ・ 子どもと過ごす夏休みは12回
  - ・ 小4以降は、抱っこの機会も減っていく
  - ・ 親の言葉が心に届くのは6～12才
  - ・ 「遊ぼう」と誘ってくれるのは10年間だけ
  - ・ 子育ては平均すると8,760日
  - ・ 親と一緒に過ごす時間は人生の5%
  - ・ あっという間の毎日が、かけがえのない宝物
- ※ 出典は不明ですが、親子の時間を楽みたいです。